

NEWS RELEASE

アキュラホーム 2年連続で長期優良住宅先導事業に採択

工務店連携型長期優良住宅・総合安定供給システム“ジャーブネット家守りネットワーク”

株式会社アキュラホーム(ジャーブネット事務局)(社長:宮沢俊哉 東京都新宿区)では、この度国土交通省が実施する平成22年度第1回「長期優良住宅先導事業」住宅の新築・戸建て住宅の提案、維持管理流通強化部門において「工務店連携型長期優良住宅・総合安定供給システム“ジャーブネット家守りネットワーク”」が採択されました。

“ジャーブネット家守りネットワーク”は、アキュラホームが主宰する全国展開のスケールメリット、地域密着企業ならではのダイレクトサービスを併せ持つホームビルダーネットワーク“ジャーブネット”をベースとした事業提案です。昨年度採択された当社提案の実践結果を元に“住宅品質向上”、“住む人の維持管理意識向上”など、ハード、ソフトの両面でさらに発展・充実させた提案内容としています。

「工務店連携型長期優良住宅・総合安定供給システム“ジャーブネット家守りネットワーク”」

長期優良住宅においては、手間のかかる申請作業が負担となり普及が進まず、また、住まい手が求めやすく価値を感じられるものでなければ普及していかないとされています。『工務店連携型』の本提案に参加するジャーブネット会員工務店は住宅建築における業務フォーマットを共通としています。その強みを活かし、情報や技術をそれに乗せて提供し、扱いやすい形で細部まで確実に施工できる体制を構築。家守りとして『相互補完体制』によって災害復旧時の応援や倒産など不測の事態に対応します。これらの運営のためにサポートセンターを設立し、各種申請事務、工事履歴のデジタル保管などのバックアップや資産価値維持、住宅への愛着を育むアイデアの実施を推進します。この活動で得られた成果は、一般工務店へ提供する機会を作り循環型社会に向けた貢献となるよう積極的に取り組んでいきます。

共通業務フォーマットの利用、普及価格帯での長期優良住宅の建設・普及、家守りを確実にする相互補完ネットワークを構築。長期優良住宅の適切な性能と品質を確実にするため、設計性能評価はもとより建設性能評価まで取得を必須とする。

SI設計・施工システムや普遍的デザインの推進、住まいに愛着をもつ「しあわせデザイン」の推進により資産価値の高い住宅を供給。

サポートセンターによる修繕費用積立、ワンストップサービスなど維持管理を促進させ流通強化を図るシステムを構築。

住まい手の長く大切に使う意識を醸成するメンテナンス講習イベントを開催。イベントを通じて建物の基礎知識を得ながら、安全で適切な維持管理をより確実なものとする。

“エコ得アドバイザー”資格制度を創設。国の補助制度をはじめとする最新知識を習得した営業担当者を養成。施主に一番お得な建築計画を提案するほか、長期優良住宅、太陽光発電などのメリットを分かりやすく伝える。

アキュラホームでは地域住宅供給の主役である工務店に扱いやすい施工基準や要件、仕様、コンセプト、価格などで確実に伝達し工務店の取り扱い意欲を喚起。さらに、全国組織の強みを活かしたイベント等による周知・普及活動を行ないます。

< 本件について報道関係からのお問い合わせ先 >

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越、山本

TEL:03-6302-5010 FAX:03-5909-5560

住所:東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F

ホームページ:<http://www.aqura.co.jp>